

FAIRLIGHT | **PYXIS**

操作ガイド

2016年6月
Issue 0001

ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしました。万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) 付属の電源ケーブルおよびその他ケーブル類は本製品専用です。接続には必ず付属ケーブルを使用してください。
- (8) Grass Valley、グラスバレー、GV STRATUS、K2、Aurora、Summit、Infinity、Grass Valley HQ、Grass Valley HQX、EDIUS、エディウスおよびそのロゴは、グラスバレー株式会社の登録商標です。
- (9) PYXIS、Fairlight は Fairlight.AU Pty Ltd. の商標です。
- (10) Microsoft、Windows、Windows Media、Internet Explorer および SQL Server は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- (11) 記載の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

表記について

- 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、添付のテキストファイルやリリースノートなども必ずお読みください。
- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書で使用している画像は開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同様に行ってください。
- 本製品の内容は、仕様変更などにより予告なく変更することがあります。
- 本書では、EDIUS Workgroup や EDIUS シリーズを「EDIUS」と表記します。
- 本書の表記について
 - [] の語句は EDIUS の画面に表示される内容を示しています。
 - 〈 〉 の語句は PYXIS コントローラーのボタン名や、画面に表示される内容を示しています。

Web について

弊社 Web サイトでは最新のマニュアルやドキュメント、サポート情報などを公開しています。
<http://www.grassvalley.jp>

FAIRLIGHT PYXIS 操作ガイド

Copyright © 2016 Grass Valley. All rights reserved.

目次

準備

編集作業前の準備	4
----------------	---

各部の名称と機能

PYXIS.Edit コントローラー	5
PYXIS.Keys	6
PYXIS.Control.....	8
PYXIS.Mix コントローラー	9
PYXIS.Pad.....	10
PYXIS.Fader	11
コントローラー背面	12

準備

編集作業前の準備

PYXIS コントローラーで編集作業を始める前に、下記の手順にしたがって準備をしてください。

1 PYXIS コントローラーを設置し、PC に接続する

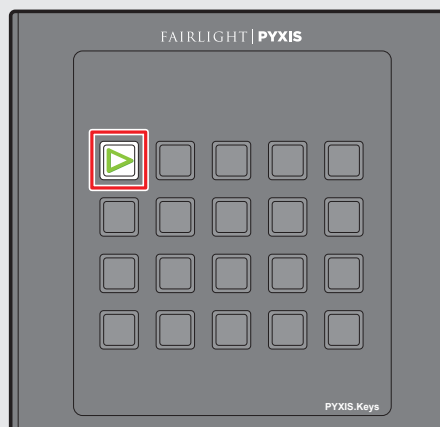
詳しくは、設置／構成マニュアルを参照してください。

2 EDIUS を起動し、[システム設定] の [入力コントローラー] → [ジョグコントローラー] と [フェーダー] で PYXIS コントローラーを設定する

詳しくは、設置／構成マニュアルを参照してください。

3 EDIUS を起動する

POINT • PYXIS Edit コントローラーで PYXIS Keys の左上のボタンを押して、EDIUS を起動することもできます。



4 プロジェクト設定を行う

手順4～6は、マウスとキーボードで操作してください。詳しくは、EDIUS リファレンスマニュアルを参照してください。

5 デバイスプリセットを設定する

6 手順5で設定したデバイスプリセットを、入力プリセット1に割り当てる

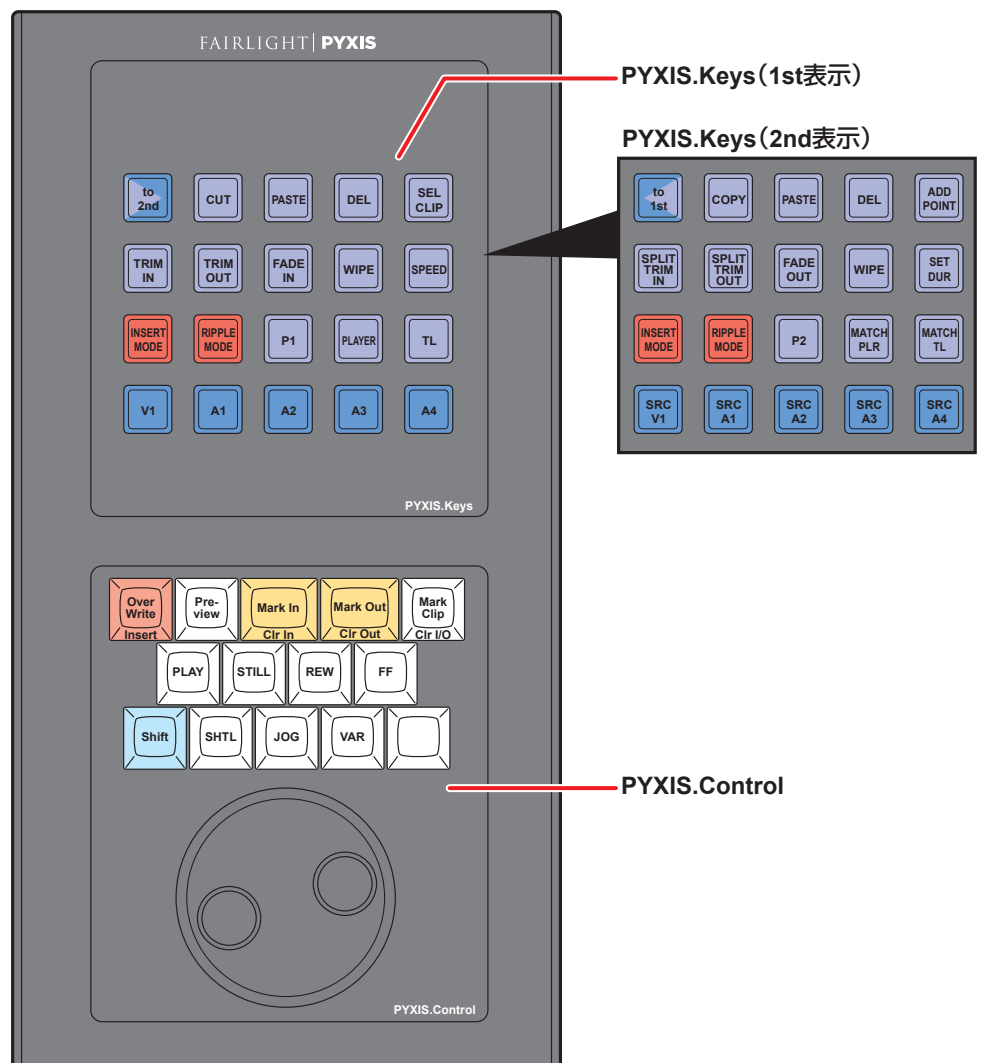
キャプチャ時に PYXIS Keys の [P1] を押すだけで、入力プリセット1を簡単に呼び出すことができるようになります。

Section 2

各部の名称と機能

PYXIS.Edit コントローラー

PYXIS.Edit コントローラーでは、映像の再生やクリップの編集作業を操作できます。



PYXIS.Keys

PYXIS Keys には、20 個のボタンがあり、1つのボタンに2つの機能が割り当てられています。もう一方の機能を使用するには、左上の〈to 2nd〉または〈to 1st〉を押して、ボタンの表示を切り替えます。

※ PYXIS Keys のボタンの機能の割り当ては、変更されることがあります。

PYXIS.Keys (1st 表示)

〈to 2nd〉	ボタン上の表示が 2nd 表示に切り替わります。
〈CUT〉	選択クリップを切り取ります。
〈PASTE〉	コピーやカット（切り取り）したクリップをタイムラインカーソル位置に貼り付けます。
〈DEL〉	選択クリップを削除します。
〈SEL CLIP〉	選択トラック*とタイムラインカーソルの交点にあるクリップを選びます。
〈TRIM IN〉	選択トラック*とタイムラインカーソルの交点にあるクリップの In 点までをトリミングします。
〈TRIM OUT〉	選択トラック*とタイムラインカーソルの交点にあるクリップの Out 点までをトリミングします。
〈FADE IN〉	選択トラック*とタイムラインカーソルの交点にあるクリップに対して、クリップの In 点から現在のタイムラインカーソル位置に向けてフェードインします。
〈WIPE〉	選択クリップのカットポイントのうち、タイムラインカーソルから近い方のカットポイントにデフォルトのトランジションを設定します。
〈SPEED〉	タイムライン上の選択クリップの再生速度を変更します。
〈INSERT MODE〉	挿入／上書きモードを切り替えます。
〈RIPPLE MODE〉	リップルモードのオン／オフを切り替えます。
〈P1〉	入力プリセット 1 に割り当てたデバイスプリセットを呼び出します。
〈PLAYER〉	In/Out 点設定、ジョグ／シャトルダイヤル、再生コントロール、マーカー設定などの操作対象をプレーヤーに切り替えます。プレーヤーでは、素材の再生や外部機器を制御できます。
〈TL〉	In/Out 点設定、ジョグ／シャトルダイヤル、再生コントロール、マーカー設定などの操作対象をレコーダーに切り替えます。レコーダーでは、タイムラインの再生や編集ができます。
〈V1〉	ビデオソースチャンネルを 1V トラックに接続または解除します。
〈A1〉	オーディオソースチャンネル（A1）を 1A トラックに接続または解除します。
〈A2〉	オーディオソースチャンネル（A2）を 2A トラックに接続または解除します。
〈A3〉	オーディオソースチャンネル（A3）を 3A トラックに接続または解除します。
〈A4〉	オーディオソースチャンネル（A4）を 4A トラックに接続または解除します。

※トラックの選択は、マウスで操作してください。

PYXIS.Keys (2nd 表示)

<to 1st>	ボタン上の表示が 1st 表示に切り替わります。
<COPY>	選択クリップをコピーします。
<PASTE>	コピーやカット（切り取り）したクリップをタイムラインカーソル位置に貼り付けます。
	選択クリップを削除します。
<ADD POINT>	選択トラック*とタイムラインカーソルの交点にあるクリップをタイムラインカーソル位置で分割します。
<SPLIT TRIM IN>	オーディオ付きビデオクリップの、マウス操作で選択したビデオ部分またはオーディオ部分（クリップの青枠部分）とタイムラインカーソルの交点から In 点までをトリミングします。
<SPLIT TRIM OUT>	オーディオ付きビデオクリップの、マウス操作で選択したビデオ部分またはオーディオ部分（クリップの青枠部分）とタイムラインカーソルの交点から Out 点までをトリミングします。
<FADE OUT>	選択トラック*とタイムラインカーソルの交点にあるクリップに対して、現在のタイムラインカーソル位置からクリップの Out 点に向けてフェードアウトします。
<WIPE>	選択クリップのカットポイントのうち、タイムラインカーソルから近い方のカットポイントにデフォルトのトランジションを設定します。
<SET DUR>	タイムライン上の、マウス操作で選択したクリップのデュレーションを設定します。
<INSERT MODE>	挿入／上書きモードを切り替えます。
<RIPPLE MODE>	リップルモードのオン／オフを切り替えます。
<P2>	入力プリセット 1 に割り当てたデバイスプリセットを呼び出します。
<MATCH PLR>	タイムラインの選択トラック*とタイムラインカーソルの交点にあるクリップの素材のタイムコードを取得し、プレーヤーに表示されている素材の該当場面へジャンプし、表示します。
<MATCH TL>	プレーヤーに表示されている素材のタイムコードを取得し、タイムライン上のクリップに適合したものが存在すれば、該当箇所へジャンプし、レコーダーに表示します。
<SRC V1>	ビデオソースチャンネルを現在割り当てられているトラックに接続または解除します。
<SRC A1>	オーディオソースチャンネル（A1）を現在割り当てられているトラックに接続または解除します。
<SRC A2>	オーディオソースチャンネル（A2）を現在割り当てられているトラックに接続または解除します。
<SRC A3>	オーディオソースチャンネル（A3）を現在割り当てられているトラックに接続または解除します。
<SRC A4>	オーディオソースチャンネル（A4）を現在割り当てられているトラックに接続または解除します。

*トラックの選択は、マウスで操作してください。

PYXIS.Control

ボタンの側面に記載されている機能（表中の 部分）を使用するには、〈SHIFT〉を押しながらボタンを押します。

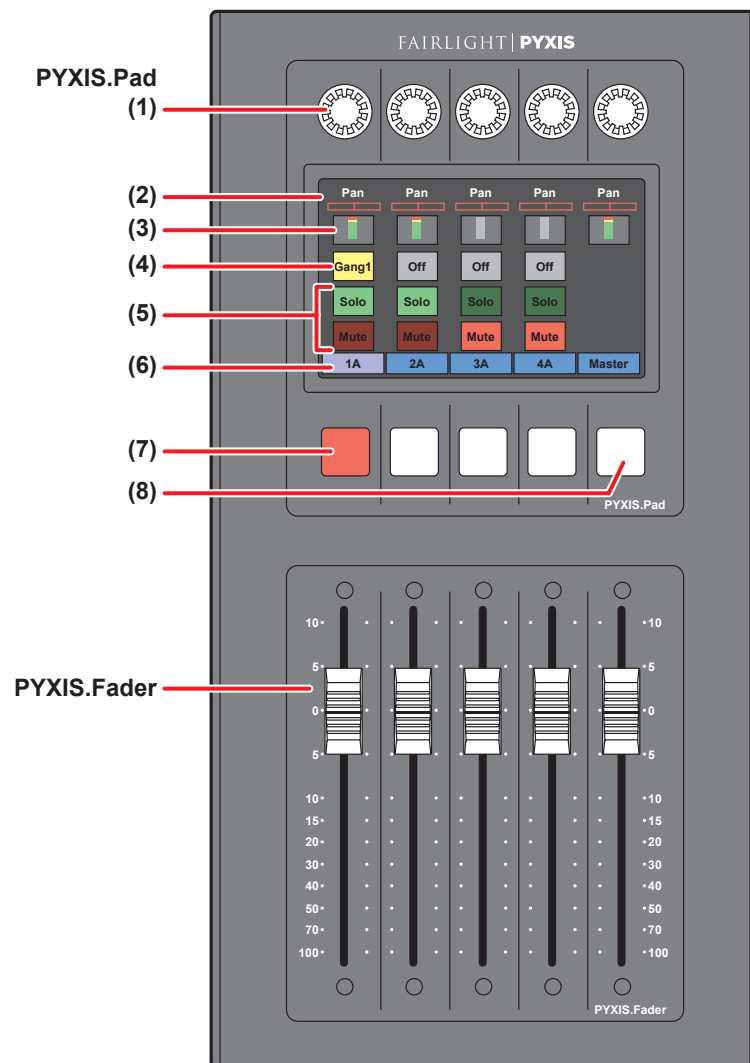
〈Over Write〉	プレーヤーに表示している素材をタイムラインに上書きモードで配置します。
〈Insert〉 〈Shift〉 + 〈Over Write〉	プレーヤーに表示している素材をタイムラインに挿入モードで配置します。
〈Preview〉	タイムラインの選択クリップの約3秒前（初期設定）から再生します。 選択クリップの何秒前から再生を始めるか（プリロール）は、ユーザー設定の「再生」で設定できます。詳しくは、EDIUS リファレンスマニュアルを参照してください。
〈Mark In〉	プレーヤーまたはレコーダーの In 点を設定します。
〈Clr In〉 〈Shift〉 + 〈Mark In〉	プレーヤーまたはレコーダーの In 点を削除します。
〈Mark Out〉	プレーヤーまたはレコーダーの Out 点を設定します。
〈Clr Out〉 〈Shift〉 + 〈Mark Out〉	プレーヤーまたはレコーダーの Out 点を削除します。
〈Mark Clip〉	クリップマーカまたはシーケンスマーカを設定／削除します。
〈Clr I/O〉 〈Shift〉 + 〈Mark Clip〉	プレーヤーまたはレコーダーの In/Out 点を削除します。
〈PLAY〉	映像を再生／停止します。
〈STILL〉	映像を一時停止します。
〈REW〉	映像を巻き戻します。
〈FF〉	映像を早送りします。
〈Shift〉	各ボタンと同時に押すと、PYXIS.Control のボタンの側面に記載されている機能を使用できます。
〈SHTL〉	ジョグ／シャトルダイヤルをシャトルダイヤルに切り替えます。
〈JOG〉	ジョグ／シャトルダイヤルをジョグダイヤルに切り替えます。
〈VAR〉	ジョグ／シャトルダイヤルをシャトルダイヤル（低速）に切り替えます。

ジョグダイヤル/
シャトルダイヤル/
シャトルダイヤル (低速)

- 〈JOG〉を押すとジョグダイヤルとして使用できます。ダイヤルを右に回すと、正方向に再生、左に回すと逆方向に再生します。
 - 〈SHTL〉を押すとシャトルダイヤルとして使用できます。ダイヤルを右に回すと、正方向に再生、左に回すと逆方向に再生します。再生速度は正方向、逆方向ともに1/16～16倍速の9段階です。
 - 〈VAR〉を押すとシャトルダイヤル (低速) として使用できます。ダイヤルを右に回す度合いによって、スロー～等倍速と加速させながら正方向に再生します。等倍速でダイヤルの止めが1段あり、それをさらに右に回すと2倍速で再生します。また、ダイヤルを左に回す度合いによって、スロー～等倍速と加速させながら逆方向に再生します。逆再生の場合は等倍速の再生まで対応しています。
- ※接続機器によっては再生速度が異なります。

PYXIS.Mix コントローラー

PYXIS.Mix コントローラーでは、オーディオミキサーの調整を操作できます。マウス操作で、EDIUSの [オーディオミキサー] ダイアログを表示させてください。



PYXIS.Pad

(1)	パン調整用コントローラー	つまみを回して、パンの調整ができます。 右に回すと R 側、左に回すと L 側に調整されます。
(2)	パンの設定値	パン調整用コントローラーで設定した値が表示されます。
(3)	レベルメーター	レベルメーターを表示します。
(4)	連結設定	複数のトラックのフェーダー、パン調整用コントローラーを連動させます。 画面上をタップするたびに〈Gang1〉(黄色) / 〈Gang2〉(赤色) / 〈Gang3〉(青色) が切り替わり、3 パターン設定できます。 連結が解除されている場合、〈Off〉が表示されます。
(5)	ソロ／ミュート設定	〈Solo〉または〈Mute〉をタップして、トラックのミュートを切り替えます。 〈Solo〉が緑色に点灯・〈Mute〉が消灯しているとき：トラックの音を再生します。 〈Mute〉が赤色に点灯・〈Solo〉が消灯しているとき：トラックの音を消音します。
(6)	トラック (チャンネル) 表示 ／ボリューム値	操作対象のトラック (チャンネル) が表示されます。 フェーダーを動かすと、トラック (チャンネル) のボリューム値 (dB) が表示されます。
(7)	動作設定	ボタンを押して、ボリューム調整のラーニングモード (動作設定) またはボリューム／パン調整の対象を切り替えます。 現在の動作設定は、[オーディオミキサー] ダイアログの動作設定の表示、またはボタンの点灯色で確認できます。 動作設定の詳細▶ P11
(8)	操作対象のトラック (チャンネル) の切り替え	5 つ以上のトラック (チャンネル) がある場合、ボタンを押して、操作対象のトラック (チャンネル) を切り替えます。

動作設定の詳細

[オーディオミキサー] ダイアログの動作設定の表示とボタンの点灯色との関係を下記に示しています。

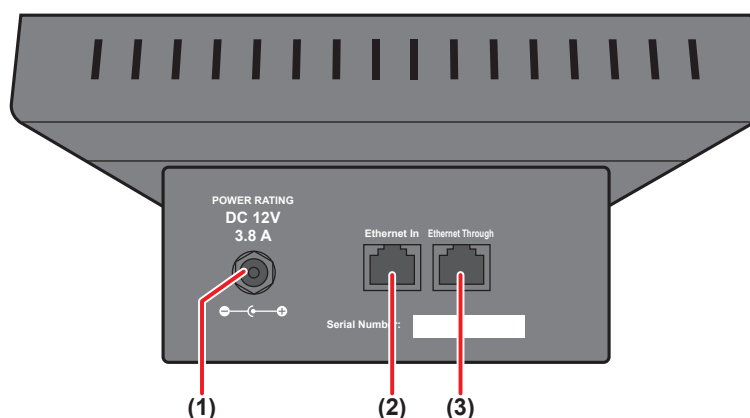
設定	[オーディオミキサー] ダイアログの動作設定の表示	ボタンの点灯色	説明
ボリューム調整のラーニングモード (動作設定) *	[ラッチ]	赤色	フェーダーを動かした時点から再生停止までのラーニングを行います。
	[タッチ]	赤色	フェーダーを動かしてから止めるまでのラーニングを行います。フェーダーの動きを止めると、フェーダーは自動的に元のボリュームに戻ります。
	[ライト]	赤色	再生開始から停止までのラーニングを行います。[ラッチ] や [タッチ] と異なり、フェーダーを動かしている / いないにかかわらず以前のボリューム値をすべて上書きします。
ボリューム / パン調整の対象	[トラック]	黄色	パンコントロール、フェーダー操作が各トラックを対象に反映されます。ラーニングは行いません。
	[クリップ]	オレンジ色	パンコントロール、フェーダー操作がタイムラインカーソルの位置のクリップを対象に反映されます。操作はラバーバンドに反映されます。ラバーバンドポイントが設定されている場合は、パンは「すべて移動」、ボリュームは「すべてを比率で移動」になります。ただし、操作開始時の値が $-\infty$ の場合は「すべて移動」になります。ラーニングは行いません。
—	[オフ]	消灯	パンコントロール、フェーダーがロックされます。

*ラバーバンドにポイントが追加されます。パンはラーニングモードで調整できません。

PYXIS.Fader

フェーダー	上下に動かして音量を調整します。
-------	------------------

コントローラー背面



(1)	POWER RATING DC 12V 3.8 A	電源ケーブルの差込口です。 本機に付属の電源ケーブル以外を接続しないでください。
(2)	Ethernet In	PYXIS.Edit コントローラーでは、ホスト PC との接続に使用します。 PYXIS.Mix コントローラーでは、PYXIS.Edit コントローラーまたは前の PYXIS.Mix コントローラーとの接続に使用します。
(3)	Ethernet Through	PYXIS.Edit コントローラーでは、ブランクプラグが付属しています。 PYXIS.Mix コントローラーでは、次の PYXIS.Mix コントローラーとの接続に使用します。